

12/13 父島・ハートロック、朝立山、戦跡ネイチャートレッキング

晴れたり曇ったり

父島でのハイキングは、ガイドがいないと入れない場所で、登山口から千尋岩(ハートロックとも言われていて、海側から見ると断崖絶壁に赤っぽいハート型の岩が見える)までの往復約 12 kmを、トミージイ(私達のガイドさん)に案内して頂きます。

行きはトミージイが沢山の植物や、戦跡の説明をしてくれたり、お気に入りの場所に連れていってくれたりして、千尋岩までゆっくりゆっくり行きました。山は本土とは全く違う植生で南国の雰囲気です。その中にある戦跡は生々しいものもあり、戦争があったことを実感させられます。今は花の少ない時期ですが、千尋岩の近くで一番見たいと思っていた固有種のムニンヒメツバキが一輪だけとても可愛く咲いていて感激しました。千尋岩は開けた場所でとても景色が良くここでランチ。みんなくじらを見つけようと海を見ながらお弁当を食べましたが、残念ながら見つけることはできませんでした。

ガイドからコースの説明



外来種持込み防止のため
コース入口で靴底を洗う



防空壕跡



ガイドの説明は大変分かりやすく勉強になった



亜熱帯樹林に行く



固有種を襲う害獣捕獲のしかけ



マルハチ (小笠原固有のシダ)



マルハチの幹。名前の由来が一目瞭然



ガジュマルの森



こんなところに旧日本軍のトラックの残骸が



森を抜け島の南端へ出る



テリハマボウ
(小笠原固有のハイビスカス)



千尋岩 (ハートロック)



海から見ると巨大な赤いハートの形をしている





帰りも行きとほぼ同じ道を帰り、途中父島の御神体という朝立岩に寄りました。この辺りで固有種のアカガシラカラスバの鳴き声を聞いたのですが、またまた姿を見ることはできませんでした。小笠原は人が住むようになってからまだ歴史が浅く、動物は人間を知らないから、結構寄って来るよとミージはおっしゃってましたが、今回小笠原にいる間なかなか動物を見ることはできませんでした。

下山後も夕日スポットや魚が見れる海岸を車で回ってくれて、一日中目一杯サービスをしてくれました。とても楽しかったです。ありがとうございました。(山田 記)

オガサワラビロウ（小笠原固有のヤシの仲間）



躑躅山 朝立岩（登れません）



その4へ続く